

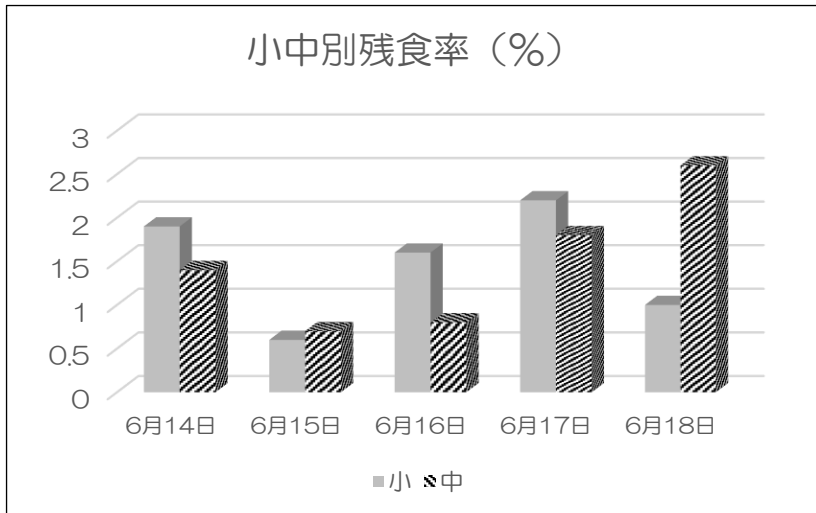
## 残食調査結果をお知らせします。

学校給食でどのくらいの栄養量を摂取しているかを、抽出で県や国に報告します。これは、6月と11月の第3週に、食べ残しを量って供給量から差し引いて算出します。本年度は県・国への報告はありませんでしたが、摂食状況を把握するため、小学校3・4年生と中学校全生徒対象に調査を行いました。

### 一調査期間の献立一

- 6月14日 麦ごはん みそ汁 魚の利休焼き クワリのソテー かしゃ餅 牛乳
- 6月15日 ウィンナーピラフ ミネストローネ フルーツナタデココ 牛乳
- 6月16日 麦ごはん 中華スープ 麻婆かぼちゃ うまかってん 牛乳
- 6月17日 麦ごはん けんちん汁 鯛のにらだれ ささめ和え 牛乳
- 6月18日 麦ごはん みそ汁 豚骨のマーマレード煮 いんげんソテー 牛乳

それぞれの残食を合計したのが下のグラフです。なお、欠席者の分は残食から引いてあります。



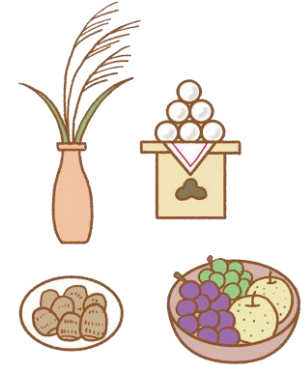
5日間の平均残食率は小学校が2.2%、中学校が1.2%でした。15日の献立は子どもたちが好むもので、全体的に少なかったです。17日のささめ和えと18日のいんげんソテーは学級差が大きく、3割以上残った学級が両日ともにありました。野菜料理は多く残りがちです。野菜の大切を理解しておいしく食べられるよう、食育と調理の工夫を重ねたいと思います。

## 「十五夜」ってなあに？



おもに月の満ち欠けをもとにして作られた昔のこよみ(旧暦)で、8月15日に当たる日です。夜は涼しく、空も澄んでいることで、1年の中で一番美しい満月とされています。

## おそなえもの



だんご(月見団子)、稲に見立てたすすき、収穫された農作物をお供えします。十五夜のときには、さといもをおそなえすることが多く、「いも名月」ともよばれます。

## 東アジアで共通のお祝いごと



十五夜は東アジア各地で祝われます。中国では「中秋節」、韓国では「秋夕(チュソク)」といいます。また英語では、9月の満月を「ハーベスト・ムーン」といいます。

## 日本だけの「十三夜」



日本だけに、十五夜の後にもう一回、お月見があります。「十三夜」といい、旧暦の9月13日の月です。これは「後の月」ともよばれ、豆や栗をおそなえすることから「豆名月」「栗名月」ともよばれています。